

| | | |
|----------------|--|------|
| 教科 | 芸術 | の目標: |
| 【知識及び技能】 | 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 | |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。 | |

| | | | |
|----------|---|--|---|
| 科目 | 音楽 I | の目標: | |
| 【知識及び技能】 | 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 | 【思考力、判断力、表現力等】 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 | 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 | |
|-------------|---|--|---|---|------|--|---|---|----------|----|
| | | 歌 | 器 | 創 | | | | | | |
| 前期 | A 歌唱 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解を深める。日本語、外国曲の特徴をとらえて、リズム・旋律・ハーモニーの関わりを理解する。歌唱に対する意識をもち、楽曲にふさわしい表現を工夫する。 | ・呼吸や口の形など発声の基本を学習する。日本語、外国曲の発音に注意して歌う。楽曲にふさわしい表現で楽しく歌う。 ・「校歌」「翼をください」「少年時代」「小さな空」「カロミオペン」「おおジャンゼリゼ」 ・一人1台端末の活用等 | ○ | ○ | ○ | 【知・技】曲想と歌詞、音楽の特性と発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現、楽曲にふさわしい表現をするための技能を身に付けている。 【思】旋律や声の音色、音楽のリズムを理解してどのように歌唱表現するかについて表現意図を持っている。 【態】楽曲に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | A 器楽 日本の伝統楽器三味線の特徴を理解して基礎的な奏法を習得する。三味線の学習では我が国の伝統音楽に親しむ心情を養う。楽曲にふさわしい表現ができるようにする。 | ・三味線の基本的な奏法を学習する。 ・長唄の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。 ・日本古謡、長唄勸進帳「寄せの合方」等を演奏する。 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | ○ | 【知・技】三味線は基礎奏法、長唄の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。 【思】三味線は音色やテクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わう。また和楽器をどのように表現するかについて表現意図を持っている。 【態】日本の伝統的な音楽に関心をもち、主体的・協働的に伝統音楽の活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | A 器楽・創作 鍵盤楽器に興味をもち、音階や和音の学習から和音進行から旋律をつくる活動、音階から旋律をつくる活動に進み、鍵盤楽器で弾いて表現の工夫をする。 | ・楽器の初歩として音階と和音を鍵盤楽器を併用して学習する。 ・単旋律教材から鍵盤楽器に親しむをもち、三重奏「デズニー・ア・ラ・カルト」等のアンサンブルで合奏を楽しむ。 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | ○ | 【知・技】音階や和音を弾いたときの響きや、音型の特徴について、表したイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、音楽表現の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思】音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの働きを感じ、特徴を理解して、どのように音楽を作り出し、表現するかについて表現意図を持っている。 【態】鍵盤楽器の演奏や、合奏やアンサンブルの演奏することに関心をもち、主体的・協働的に創作活動や器楽の活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | B鑑賞 西洋の様々な音楽の特徴を理解し、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くとともに、諸外国の音楽に親しむ心情を養う。 | ・教会音楽、ルネッサンス、バロック、古典派音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。 ・それぞれの音楽の共通点や違いについて考える。 ・社会にとっての音楽の意味や価値について考える。 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | ○ | 【知・技】西洋の様々な音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。音楽と社会との繋がりについて興味、関心をもち、 【思】音色やリズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【態】世界の様々な音楽に関心をもち、主体的・協働的に創作活動や器楽の活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 後期 | A 歌唱 日本語の美しさを感じ取り、発音に注意しながら、歌詞の内容や曲想を理解し、楽曲にふさわしい表現の工夫をして歌う。イタリア語、ドイツ語、英語の発音の特徴、言葉のリズムと旋律との関わりを理解し、表現の工夫をして歌う。 | ・楽曲の発音に注意して歌う。楽曲の言葉（歌詞）のリズムと旋律の関わりを理解する。歌詞の内容、曲想を理解し、楽曲に合わせた表現をして歌う。 ・「椰子の美」「夏の思い出」「鳥唄」「オーソレミオ」「野ばら」「Tonight」・自由発表 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | ○ | 【知・技】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な言葉（歌詞）の特徴を理解し、楽曲に応じた発声等の技能を身に付けている。 【思】言葉（歌詞）のリズムと旋律の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌唱表現するかについて表現意図を持っている。 【態】楽曲に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | A 器楽 長唄の特徴を理解し、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くとともに、我が国の伝統的な音楽に親しむ心情を養う。 | ・長唄勸進帳「寄せの合方」を三味線で小鼓等と合奏できるように深める。 ・現代的な三味線曲「千本桜」をリズムにのって演奏する。 ・長唄、歌舞伎について学習する。 ・西洋音楽との共通点や違いについて考える。 ・一人1台端末の活用 等 | ○ | ○ | ○ | 【知・技】三味線は基礎奏法、長唄の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。 【思】三味線は音色やテクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わう。また和楽器をどのように表現するかについて表現意図を持っている。 【態】日本の伝統的な音楽に関心をもち、主体的・協働的に伝統音楽の活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | A 器楽・創作 ギターに興味をもち、音階や和音の学習から、表現の工夫をして演奏する。和音進行から旋律をつくる活動、音階から旋律をつくる活動に進み、鍵盤楽器等でも表現の工夫をする。 | ・ギターの音階と簡単なコードを学習する。 ・単旋律教材と器楽アンサンブルに親しむをもち、ギターを弾くことに興味をもち、教科書掲載の「She Loves You」等のアンサンブルでギター、鍵盤楽器等の合奏を楽しむ。 ・自由発表で学習した成果を表現する。 ・一人1台端末の活用等 | ○ | ○ | ○ | 【知・技】曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解している。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けている。 【思】音色やコードの響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 【態】ギター、鍵盤楽器等の独奏やアンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に創作活動や器楽の活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | B鑑賞 アジア地域の様々な音楽の特徴を理解し、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くとともに、諸外国の音楽に親しむ心情を養う。 | ・日本音楽、ガムランなどアジア地域の音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。 ・それぞれの音楽の共通点や違いについて考える。 ・社会にとっての音楽の意味や価値について考える。 ・一人1台端末の活用等 | ○ | ○ | ○ | 【知・技】日本、アジア地域の様々な音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。音楽と社会との繋がりについて興味、関心をもち、 【思】音色やリズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【態】アジア地域の様々な音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 合計 | | | | | | | | | 70 | |

教科: 芸術

科目: 工芸 I

単位数: 2 単位

使用教科書: 工芸 I 日本文教出版

| | | |
|----------------|--|------|
| 教科 | 芸術 | の目標: |
| 【知識及び技能】 | 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 | |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。 | |

| | | |
|----------|---|---|
| 科目 | 工芸 I | の目標: |
| 【知識及び技能】 | 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。 | 【思考力、判断力、表現力等】 |
| | | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識を持って工芸や工芸の伝統と文化に対する見方やし方を深めたりすることができるようにする。 |
| | | 【学びに向かう力、人間性等】 |
| | | 主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 | |
|-------------|--|--|---|------|---|---|---|----------|----|
| | | 身 | 社 | | | | | | |
| 前期 | A表現 【知識及び技能】 ペーパークラフトBOXの造形の要素を働きを理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 紙という素材や自己の思いなどから心豊かな発想ができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に身近な生活の中で使われる箱と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている | ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 1. ペーパークラフトBOX | ○ | ○ | 【知・技】 造形の要素の働きを理解している 【思】 自然や素材、自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】 主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | A表現 【知識及び技能】 ペーパーナイフを意図に応じて制作方法を創意工夫し、造形的に表すことができる 【思考力、判断力、表現力等】 用途と美しさの調和を考え、ペーパーナイフの表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている | 2. クラフトロイドペーパーナイフ | ○ | ○ | 【知・技】 ペーパーナイフを意図に応じて制作方法を創意工夫し、造形的に表すことができる 【思】 用途と美しさの調和を考え、ペーパーナイフの表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている 【態】 主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | A表現 【知識及び技能】 グラスリッツェン制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思考力、判断力、表現力等】 ガラスという素材や自己の思いなどから心豊かな発想をすることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている | 3. グラスリッツェン | ○ | ○ | 【知・技】 グラスリッツェン制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思】 ガラスという素材や自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】 主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている | ○ | ○ | ○ | 14 |
| 後期 | A表現 【知識及び技能】 革クラフトの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思考力、判断力、表現力等】 革という素材や自己の思いなどから心豊かな発想をすることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に身近な生活と革クラフトの表現の創造活動に取り組もうとしている | 4. 革クラフト (牛革) ICカード入れ コースター | ○ | ○ | 【知・技】 革クラフトの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思】 革という素材や自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】 主体的に身近な生活と革クラフトの表現の創造活動に取り組もうとしている | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | A表現 【知識及び技能】 絞り染めと型染めの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思考力、判断力、表現力等】 布という素材や染色の特性などから、自己の思いなどから心豊かな発想をすることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に身近な生活と染色工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている | 5. 染色 (トートバッグ) 絞り染め、型染め | ○ | ○ | 【知・技】 絞り染めと型染めの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思】 布という素材や染色の特性などから、自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】 主体的に身近な生活と染色工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | | | | | | | | 合計 | 70 |

